

大学等名：崇城大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

●取組概要：本学独自の英語教育施設(SILC: Sojo International Learning Center)に併設した自律学修センター(SALC: Self Access Learning Center)では、学生が主体的に学修し年間利用者数が4年間で12倍に拡大した。このSALCのノウハウを全学に普及させ学生の自律学修のマインドを醸成するとともに、専門科目のアクティブラーニング（AL）化を推進するために全学SALC/学科SALCを設置し、利用時間を可視化して単位の実質化を目指す。

～ALの基礎となる学生の自律学修の醸成とALの普及、単位の実質化を目指して～

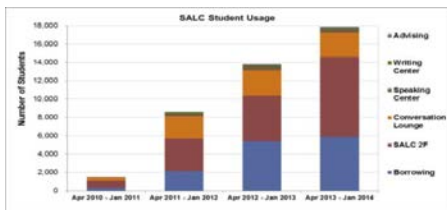
これまでの取組

崇城大学英語教育施設SILC

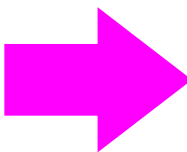
- ・グローバル技術者育成のため、本学独自に2010年に設立
- ・ネイティブ教員約15名で、講義はすべて英語で実施
- ・学生の英語自律学修を促す支援センターとしてSALCを設立

SALCの特徴

- ①DVDや書籍などの英語教材を備え、ICT(Moodle)を活用した講義外の自律学修(アクティブラーニング)ができる。
- ②ラーニングアドバイザーが3名が常駐し、教材の選定や学習方法の助言(主体は学生)を行う。
- ③SALCアクティビティ(ワークシートなど)を独自に導入し、利用した分を一定の割合でSILCの成績に反映する。



⇒ SALC利用者が4年間で12倍に拡大。学生一人が年に5回は利用。



SALCのノウハウを普及させるためのFDer錬成会を開催。(FDerの活動は、本学独自の教育業績評価に反映)

これからの取組

全学SALC/学科SALCの機能とファカルティデベロッパー(FDer)の役割

- ①FDer & 学生ファシリテーターによる講義課題等に対する学生の自律学修を促す助言の場(図書館の学科推薦図書等の利用等)



- ②FDerを中心に各専門科目にALを普及し、全学/学科SALCで実施



- ③ FDerを中心に自宅学修が可能な専門科目アクティビティーを開発



⇒ 主体的に行動できる社会人の育成

【事業の成果】

	26年度	28年度(目標値)	30年度(目標値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	53%	80%	100%
アクティブ・ラーニングを行う専任教員数	64人	80人	100人
アクティブ・ラーニング科目の内必修科目の割合	53%	60%	70%



・本事業を実施することで、22年度よりSILC/SALCを立ち上げ取組んできたアクティブラーニングを全専門科目に普及させ、主体的に行動できる人材育成を加速する。
・本事業実施により、各学科に学生の主体的学びを支援する学科SALCが設置され、FDerの錬成によりFD活動が活性化される。